

# 声劇アプリを作りたい

ボイストランド  
作成委員会について

# 今日みなさんにお話ししたいこと

- 声劇アプリ【ボイストランド】とは
- どういう人がメンバーにいるの？
- 知ってもらいたい「声劇アプリの問題点」
- 開発のスケジュールについて
- 資金の調達について
- アイデアボックスに頂いた質問など
- Q&Aタイム
- 最後に...

# 声劇アプリ【ボイストランド】とは

- ボイコネのサービス終了をきき「気軽に劇が出来るプラットフォームをなくしたくない」という思いから、集まった有志が作る「劇を楽しみたい人の為の場所」です

# 声劇アプリ【ボイストランド】とは

- 「劇の楽しみ方は十人十色」

どんな仕様が良いのかは、十人十色でかならずしもぴったりにはないです。でも「そこに行けば、約束してなくたって劇が好きな仲間と出会える」そんな場所が作りたい

- そのための私たちの譲れない信念

キャスト、ライター、リスナーといった

声劇に想いのある人、もしくは新しく声劇に興味をもった人が

【また聴きたい！また書きたい！また演じたい！と思える場所】

# どういう人がメンバーにいるの？

- プロジェクトメンバーの構成

プログラム開発・コンサル経営関連者

コンテンツ作成や企画立案経験者・交渉や運営の有識者

配信アプリからの繋がり5名

その他、協賛企業として話をすり合わせている方、開発業者

プロジェクトの代表者

らび

協力メンバー代表

らぐ

# 知ってもらいたい「声劇アプリの問題点」

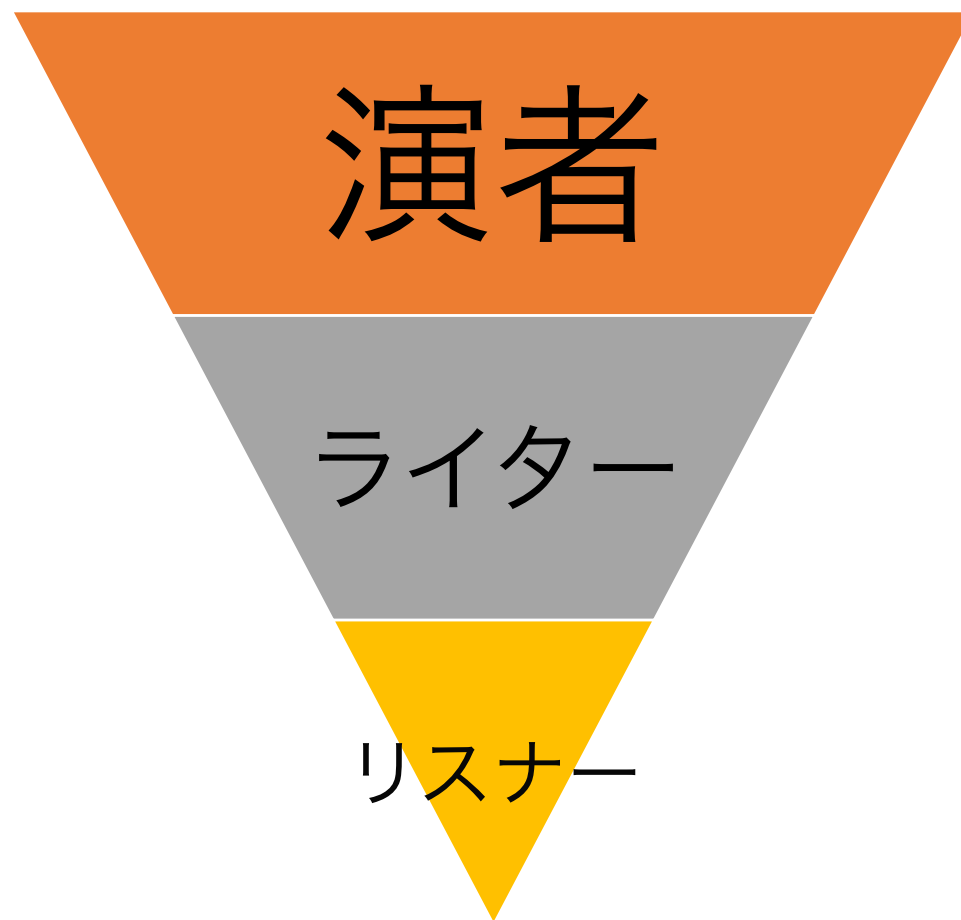
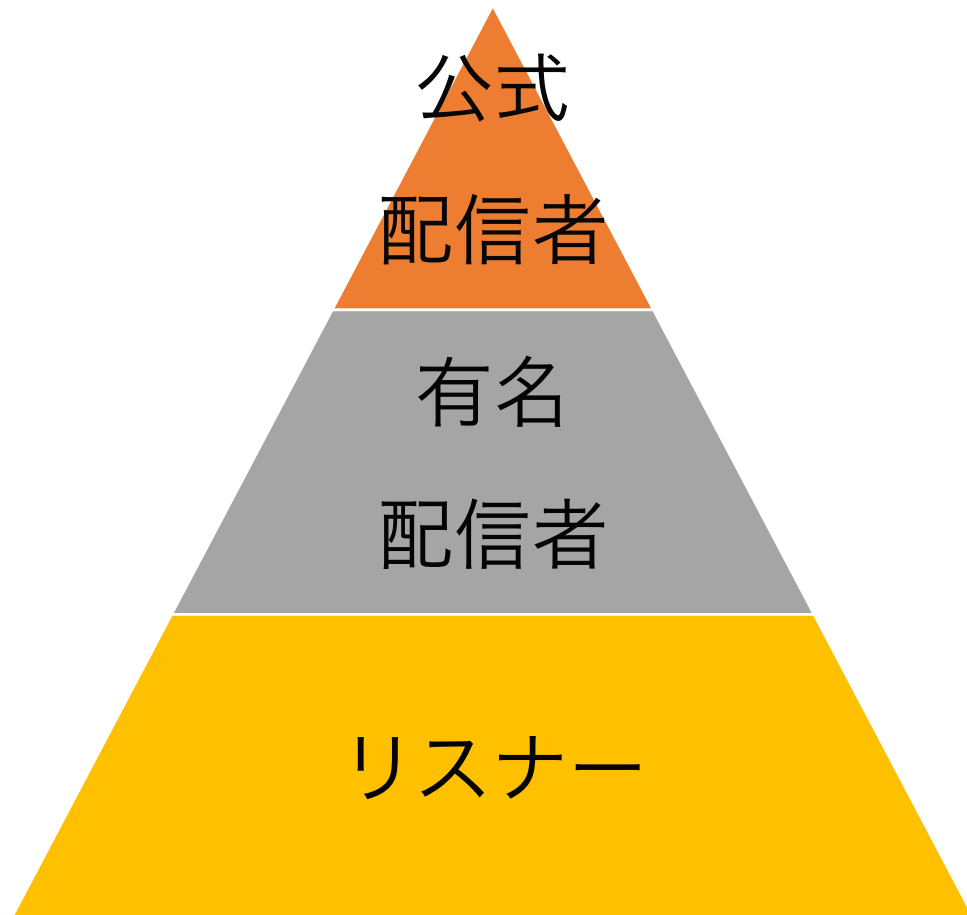
- 「劇というコンテンツはお金になりにくい」

いままで沢山の演者向けのコンテンツがありましたが、いずれも資金面や運営面から立ち行かなくなる傾向が強い

なぜか？

「劇を“したい”ユーザーが多く、一般的な配信サービスで収益の根幹となる”リスナー”が少ない」

# 知ってもらいたい「声劇アプリの問題点」



# 知ってもらいたい「声劇アプリの問題点」

「劇を“したい”ユーザーが多く、一般的な配信サービスで収益の根幹となる”リスナー”が少ない」

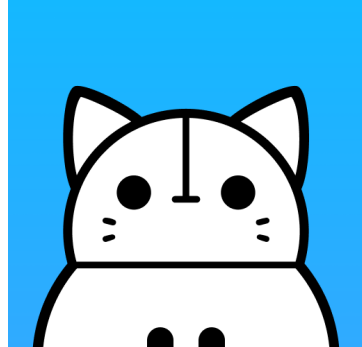
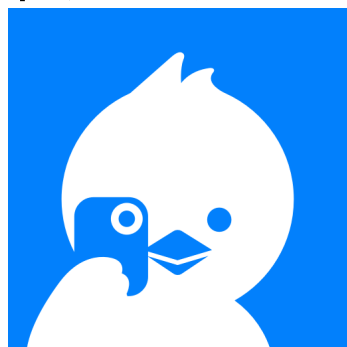
サービスを維持する為には「リスナーではなく“サービスを利用する人がお金を出す”必要がある」



# 知ってもらいたい「声劇アプリの問題点」

【ボイストランド】は

ツイキャス や IRIAM といったLive配信サービスではなく  
ポケカラ のように サービスを使いたい人が使用するもの



ほぼ確実に月額制のサービスになります

カラオケボックスに比べてルーム料金がかかる

レンタルスタジオを有料で借りる といったようなイメージ

# 開発のスケジュールについて



各セクションについて、大まかな日程は決まっていますが、確定させるためには、多方面とのすり合わせが必要です。

現段階では詳細に〇月〇日にこのセクション...とお伝え出来ません

おおよそ年内中に「劇が出来る状態での公開」を目指していると思っていてください

出せる段階で随時告知していく予定です

# 資金の調達について

- 資金調達は【クラウドファンディング】を使用します

可能であれば「必要資金をすべてここでまかないたい」です  
様々な理由はありますが、一番大きな理由があります

「企業融資がメインになった場合、私たちが開発の主導権を  
握れなくなるかもしれないから」です

# 資金の調達について

たとえば、2000万円の開発費があった場合、  
半分の1000万円を企業がだしたとします

収益が出たときに、企業との契約内容によっては  
そのうちのいくらかを企業に支払うという内容も多いです

では、500万円の収益がでた場合、本来500万円を次の機能拡充に使えるはずが、250万円しか使えない となります

# 資金の調達について

例として出したので、実際はもっと複雑な内容になってくるのですが、他にも

- ・ 出資をしているのだから、運営と違う方針でやってもらわないと困るといわれる
- ・ 企業のつながりの関係で、楽しんでいるユーザーにとって意図のそぐわない提案や企画開催の話がされる

といった懸念事項があがります

嫌なんです

# 資金の調達について

なので、外野から色々いわれないためにも「劇を楽しみたいユーザー」の力でなんとかしたい

というのが本音です。

しかしアプリの開発にはお金がかかります

維持にもかかります

もうべらぼうにかかります

そのため、企業協力も確実に必要になります。

現在、出資のご提案があった企業様もいらっしゃいますが、食いつかずに慎重にこちらの意思を加味した契約ができるのか、話し合いをしているところです

クラウドファンディングの金額は？

2000万円です

時期的には4月ごろの気持で動いています。日程が決まり次第きちんとお伝えします。

クラウドファンディングの金額は？

2000万円です

沢山のユーザーがアプリ開発に手を出そうとして、涙をのんで諦めた理由ではないでしょうか

いち個人団体が手をだす金額ではないです



# クラウドファンディングの金額は？

# 2000万円です

細かな内訳については、現段階では変動があるため提示できませんが、これは1年間なんとしても「運用をもたせる」という、

開発して終わりではなく「維持」するために必要な諸々がはいっています

- ・ サーバー維持費
- ・ 運用保守費
- ・ 今プロジェクトに仕事としてかかわる人員の給金 など

# クラウドファンディングの金額は？

ひとり10000円だしても2000人必要です

いま「声劇を楽しんでいる人」だけでは足りません

私達は「アプリを開発」するだけではなく  
一般層にむけて「声劇」というコンテンツを認知させ  
楽しさを共有し、沼にひきこみ、ユーザーになってもらう  
必要があります

そのための施策をすすめます。

一般層に向けてハッシュタグをつけてのツイート等も協力して下さい。

クラウドファンディングが集まらなかったら  
そこでこの計画は終わりです。

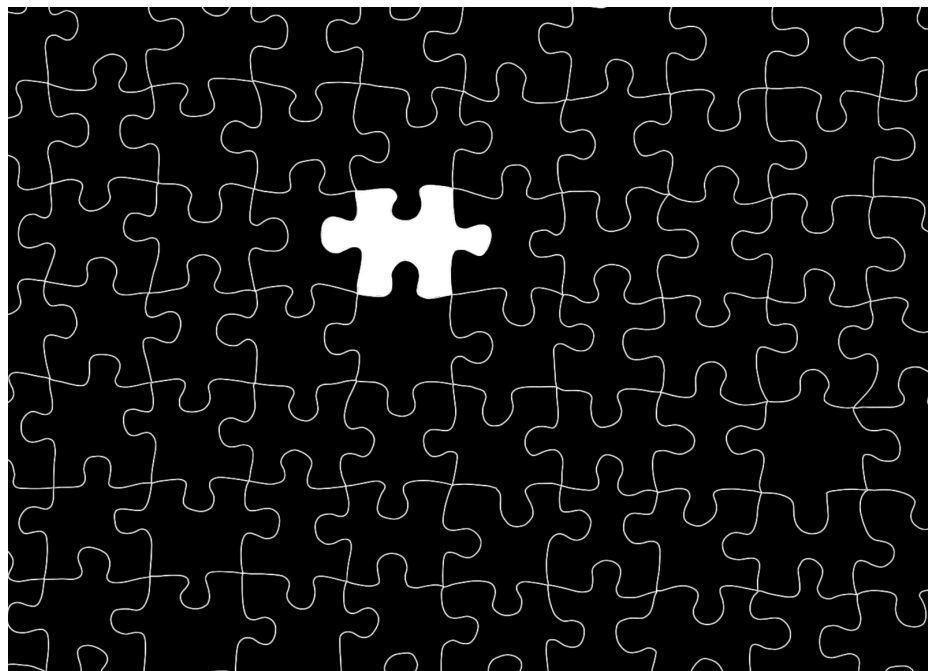
たとえ企業から融資が受けれたとしても、私たちはプロジェクトを打ち切ります。

ボイストランドは お金を出す価値を見出せない と判断された という  
ことです。

ここで集まらないようなら、今後どんなに手をうっても続きません。かならずどこかで終了します。

# Q&Aタイム

- 質問を頂く前に、一番多いであろう機能について説明させていただきます

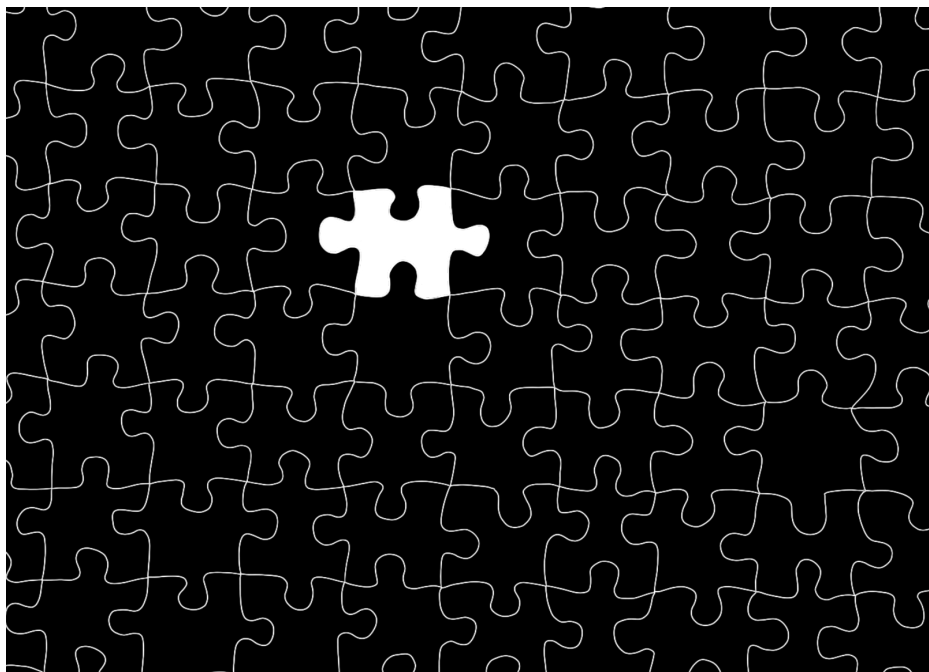


開発にあたり、機能の拡充をパズルのように考えています。

最低限、劇が出来る状態をベースの外枠として、追加機能をパズルのピースのようにあとからつけていく開発方針です。

このピースをどこから、実装するのは運用状況やユーザーの要望を加味して、開発業者と相談し、可能なものから実装してまいります

# Q&Aタイム



ですので「この機能がほしい」となったとき、「先に別の機能が実装されたり、代替えとなる機能が実装される」ことがあります

ただ勘違いしてほしくないのは

「提案頂いた機能を安易に省いたわけではない」ということです

- ・ 費用的に今がむりだった
- ・ 先に実装しないといけない機能があった

なにかしらの理由があります

そしてこの実装機能については運営が判断します。  
各方面と話をして決めないといけないからです。  
ご了承いただきたいです。

アイデアボックスに頂いた質問など

# 最後に...

- 私達はプロジェクトの筆頭として立ち上がりましたが、「皆さんと変わらない個人」です
- 私達がどれだけ頑張っても、ユーザーとして使いたいという人がいなければ、作り上げることはできません。
- はじめから要望にあったすべてをつくるのは無理です。

けれど、私たちの譲れない信念

キャスト、ライター、リスナーといった  
声劇に想いのある人、もしくは新しく声劇に興味をもった人が

【また聴きたい！また書きたい！また演じたい！と思える場所】

これに欠片でも賛同していただけるのであれば、力を貸して下さい。

私達は本気です。